



ほうじゅ

検索

やっ坊

やっ坊



第21回

ほうじゅみらい創造研修会

を開催しました

2月2日(火)、陽だまり棟講堂において、「みんなで取り組む!リハビリ栄養・認知症対応」をテーマに「ほうじゅみらい創造研修会」を開催しました。21回目となる今回は、認知症治療のトップランナーである石川県立高松病院 院長の北村 立先生をお迎えし、認知症に関する基調講演を頂いたほか、能美市の認知症対策を担う「メモリーケアネットワーク能美」代表の水毛生先生(みもうクリニック院長)、当院「もの忘れ相談外来」を担当する村井先生(恵仁クリニック院長 / 当院非常勤医師)からも認知症治療の現状や課題についてお話し頂きました。合わせて院内から「リハビリ栄養・認知症対応プロジェクトチーム」の取り組みについて報告があり、西出歯科口腔外科部長が多剤投与の対策事例を中心に、合歓垣理学療法士主任が地域包括ケア病棟を中心とした POC リハビリについて紹介しました。

講義の後に行われた事例検討とフリーディスカッションでは、職種ごとのグループに分かれ熱のこもった議論を交わしました。職種の持つ専門性で異なる意見も見られ、新たな気づきや視点を職種を超えて共有する機会となりました。

恵仁クリニック院長
もの忘れ相談外来非常勤医師
村井 裕先生



メモリーケアネットワーク能美代表
みもうクリニック院長
水毛生 直則先生



石川県立高松病院 院長 北村 立先生

2016年 春号コンテンツ

CONTENTS

P2-3 特集ページ

～シリーズおうちで暮らそう③～
在宅医療をささえる入院医療の取り組み

P4 【ほうじゅグループニュース】Pick up!

院内の最近の話題
MRI検査装置更新のご案内



在宅医療をささえる入院医療の取り組み

「住み慣れた自宅で医療を受けたい」と思っている方も「まだ準備が…」 「何かあった時に…」 「留守にしなければいけない時は…」 など、在宅医療は、患者さんはもちろんご家族にとっても不安や負担があります。今回のヤッ芳は、当院が入院機能を活かして行っている在宅医療の支援をご紹介します。

1 在宅・生活復帰の準備

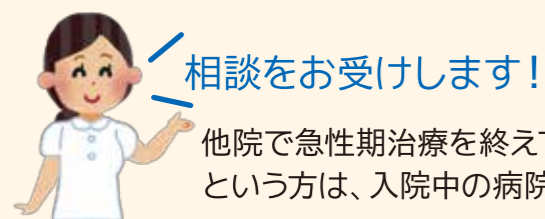
当院の「地域包括ケア病棟」では、急性期治療を終えて在宅復帰を目指すために必要な「こころとからだ」や「生活環境」を整えるお手伝いをしています。

「こころとからだ」の準備

必要な治療を継続しつつ、リハビリや食べるための訓練、口腔ケア、栄養指導、お薬の調整など、院内の多職種が協働して在宅復帰の準備を行います。

「生活環境」の準備

ケアマネジャーや医療ソーシャルワーカーを中心に、退院後の生活を見据えたサービス提供の準備を、地域内の在宅医療パートナーとともに進めます。



相談をお受けします！

他院で急性期治療を終えて退院するにあたり、在宅移行の準備期間がもう少し欲しいという方は、入院中の病院に当院「地域包括ケア病棟」への転院をご相談ください。

2 レスパイト入院

介護者の事情などから一時的に在宅医療が困難となる場合に、入院の受入れを行い介護者の負担軽減を目指す仕組みです。当院は、在宅で常時の医療管理及び介護が必要な方を対象としたレスパイト入院に対応しています。

対象となる方

能美市在住で、以下のような医療的管理を必要とし、介護保険によるショートステイ利用が困難な方

用事で数日留守にするけど病院で見てくれるなら安心



- ・夜間も吸痰が必要
- ・CVポート(点滴)、胃瘻、経鼻での栄養管理が必要
- ・気管切開をしている
- ・がんの疼痛管理が必要 など

現在は障害児・者のレスパイト入院には対応しておりません

受入れ期間

2週間以内(入院期間終了後はご自宅へ退院となります)

ご留意頂く点

- ・満床時にはご希望に添えない場合があります
- ・入院期間中は原則として他科受診はできません

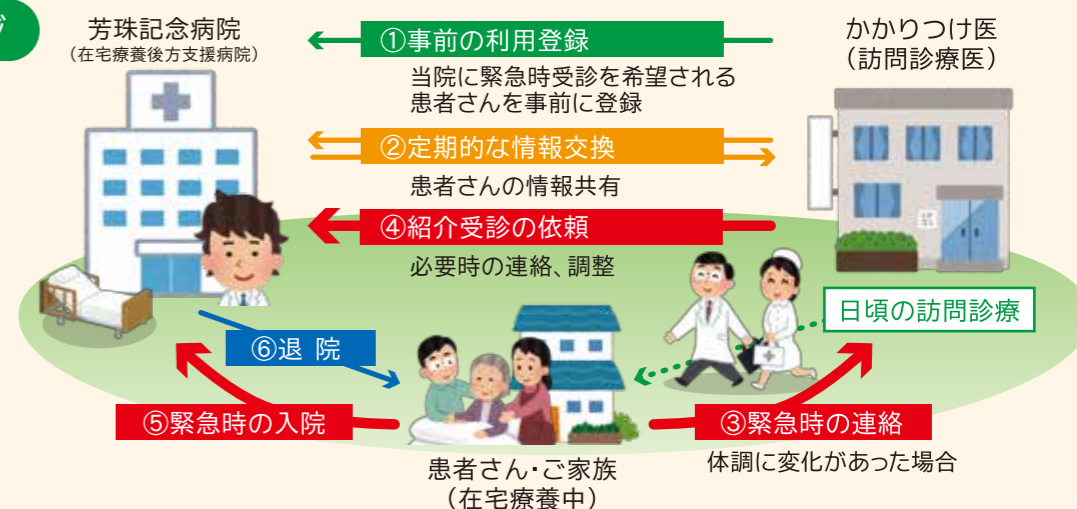
利用について

- ・ご利用にはケアマネジャーを通じての事前申込が必要です
担当ケアマネジャーにご相談ください

3 在宅療養後方支援病院

3月から「在宅療養後方支援病院」の届け出機関となりました。今後は、在宅医療を受けている方を対象に、あらかじめ「緊急時に当院入院を希望する」として登録された患者さんに対し、緊急時の24時間対応、必要時の入院受入れを行います。

運用イメージ



対象となる方

- ・当院に受診歴のある方
- ・下記のような住居にお住まいで、在宅医療を受けている方

ご自宅・有料老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム
ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅 など

ご留意頂く点

- ・制度上、緊急時の入院登録先は患者さんあたり1病院のみとなり複数の病院に登録することはできません
- ・登録は、かかりつけ医と必要性を相談のうえで決定します
- ・かかりつけ医の業態によって登録対象にならないことがあります
- ・病状によっては、他の専門医療機関を紹介することがあります
- ・長期療養を目的とした入院は受入れの対象となりません

利用について

安心窓口センター統括室 ほうじゅ連携室
☎ 0761-51-5551 (代表)

入院機能を活かして在宅医療の支援を

医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院 副院長 / 安心窓口センター統括室 室長 吉光 裕

在宅医療の推進は、国家レベルで取り組んでいる課題ですが、担い手の環境などまだまだ厳しいのが現状です。当院は、訪問診療は行っていませんが、訪問看護やリハビリ、介護など在宅医療を支える訪問系サービスをグループ事業として提供している他、今回ご紹介したように、在宅医療への移行準備から実際の現場を支える取り組みまで、入院機能を活かした幅広い活動を行っています。今後も、地域の皆さまに求められる役割を考え「安心してらせる地域づくり」に貢献したいと考えています。



1/13

B1階地域包括ケア病棟 書初め大会

B1階地域包括ケア病棟で書初め大会を行いました。初めはなかなか筆が進まない様子でしたが、時間がたつにつれどんどん筆が進み、たくさんの作品が完成しました。後半は、お茶を飲みながらお互いの作品を眺めて過ごし、笑顔あふれる穏やかなひと時となりました。



さすがの達筆です!

2/12

第39回 院内研究発表会

於：陽だまり棟B3階 講堂

第39回 院内研究発表会を開催しました。今回は、医師以外の多職種を対象に演題を募集。今年度の学会などで発表した13演題が集まり、日頃の研究成果を共有する貴重な機会となりました。



MRI 検査装置更新のご案内

MRI(磁気共鳴断層撮影装置)の更新を行います。工事のため下記の期間中検査を休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

●検査の休止期間

3月3日(木)
18時から

3月28日(月)
9時まで

同期間中にMRI 検査が必要な場合は、近隣病院と連携し対応致します。どうぞご安心ください。

Information



GE Healthcare SIGNA Explorer

●新しい装置の特長

- 最新の光デジタル伝送技術を搭載
検査の高速化
- より詳細な画像の描出が可能
- 自由呼吸での撮像が可能
- 検査中の騒音の軽減 など

編集後記

今年もはやいもので2ヶ月が過ぎました。これから春に向けて、寒さも緩んできますが、毎日の寒暖差も大きくなりますので、体調管理には引き続き気を付けたいものです。

今回の特集ページでは入院医療を通じた在宅医療の後方支援についてご紹介しました。在宅と入院はもちろん、今後は地域の医療介護がより密接につながることで安心して暮らせる能美市が実現できればと考えています。

能美市

- 芳珠記念病院
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハ
ステーション緑が丘
- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 訪問介護事業所 ビジットケアひすい
- 小規模多機能型居宅介護事業所
コミニケア緑が丘
- 高齢者対応型賃貸住宅
コレクティブハウス緑が丘
- 福祉用具貸与事業所 ライフケア芳珠
- ライフケア芳珠 サテライトショップ

小松市

- グループホーム 陽らら

ほうじゅグループのモットー「和楽仁」

仲よく楽しく 人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、当院に関わる皆様の生涯の健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切に、安心できるパートナーシップを築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで最新の科学的根拠に基づく安全で的確なチーム医療を多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会保障の向上と経済の振興に取り組みます。